

農業経営人材の育成に向けた官民協議会 実務者会合（第4回）

議事概要

- 1 日 時：令和7年10月24日（金）13：30～15：00
- 2 場 所：三田共用会議所 講堂
- 3 出席者：（一社）アグリフューチャージャパン 鵜川シニアマネージャー、全国社会保険労務士会連合会 荒木社会保険労務士、（一社）全国農業改良普及支援協会 佐野常務理事、齊藤普及参事兼情報部長、（一社）全国農業協同組合中央会 高塚営農・担い手支援課長、全国農業協同組合連合会 早見 TAC・営業支援課長、（一財）日本 GAP 協会 荻野代表理事専務、日本行政書士会連合会 関口専務理事、日本司法書士会連合会 中本常任理事、高橋農業関係対応委員会委員長、（一社）日本食農連携機構 榎本参与、宮本氏、（株）日本政策金融公庫 宮嶋営業推進部課題解決支援第一 GL、日本税理士会連合会 秦常務理事中小企業対策部長、（一社）日本中小企業診断士協会連合会 山下中小企業診断士、（公社）日本農業法人協会 加藤参事、（特非）日本プロ農業総合支援機構 玉井常務理事、高橋主席コンサルタント、日本弁理士連合会 早川日弁連知的財産センター委員（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 宮武農業経営戦略部長、澤田中日本農業研究センター研究グループ長補佐、農林中央金庫 宮島営業企画部農業金融グループ部長代理、中野営業企画部農業金融グループ職員、日本弁理士会 権正副会長、國井農林水産知財対応委員会委員長、農林水産省経営局 上野経営政策課長ほか
- 4 主な議題：新たな構成員の紹介について
農業経営支援策について
農業経営人材の育成に向けた研修プログラムの改善等について
農業経営人材が活用するツールの改善・開発について
第三者継承ガイドラインの策定について
農業法人の企業価値評価手法について
意見交換
- 5 主な発言内容：
◆ 新たな構成員（日本弁理士会）の紹介について

当会は法律によって規定された 8 士業のうちの 1 つである弁理士に関する法人である。

農業と深く関連する活動として、知的財産を用いた経営戦略、事業開発を行う知的経営センター、小・中・高校及び大学等の教育機関への講師派遣や地域、一般の方に向けた事業を行っている知的財産支援センター、農林水産の知財に特化させた調査研究を行う委員会である農林水産知財対応委員会がある。

このうち農林水産知財対応委員会では、企画やアグリテック、標準化などの現代農業の課題解決手段を検討する第 1 部会、国内外の品種登録を支援する第 2 部会、いわゆる GI について支援を行う第 3 部会、農水知財に関する国内外のセミナー・イベントに対応する第 4 部会の 4 つの部会があり、弁理士の支援や弁理士活動の周知を実施している。

◆ 意見交換

「農業経営人材の育成に向けた研修プログラムやツール等」については、改善を重ねてきており、良いツールとなってきたとの発言があり、「第三者継承ガイドライン」については、潜在的なリスクを踏まえてデューデリジェンスできるような項目を入れてはどうか、「農業法人の企業価値評価」については、評価目的を踏まえて検討を深めてはどうか等の意見があった。出された意見を踏まえて、更に検討を深めていくこととなった。

(以上)